

令和5年4月9日執行
千葉県議会議員一般選挙

選挙公報

鎌ヶ谷市選挙区
千葉県選挙管理委員会

県政から市政へ
～オンリーワンのまち 鎌ヶ谷～

まちづくり 石井かずみの5つの政策

柱1 北千葉道路の早期事業化による 大胆なまちづくり

市川市と成田市を結ぶ北千葉道路は、令和3年度、市川市と松戸市間の専用部1.9km、一般部3.5kmが国により事業化されました。北千葉道路は鎌ヶ谷市の更なる発展の起爆剤として、残る鎌ヶ谷区間についても、早期に事業化を図り、大半が調整区域となっている沿線の大胆な土地利用を進める必要があります。このため、北千葉道路を管轄する千葉県に早期事業化を強く働きかけてまいります。

柱2 賑わい創出による地域活性化

新鎌ヶ谷駅南側には千葉県所有の土地が3か所ありますが、特に駅に隣接した土地、約7,000㎡の売却に当たっては、私が県議会一般質問で要望したことを受け、鎌ヶ谷市の賑わい創出に寄与する形で公募がなされました。今後、順調に事業が進むようチェックしてまいります。

柱3 災害に強く安心して暮らせる 利便性の高いまちづくり

鎌ヶ谷市では、多くの千葉県事業が施行されていますが、どれも市民の安全、安心、そして利便性の向上につながる事業です。これらの事業が、予定通り進捗するようにしてまいります。

- 粟野バイパス整備事業
- 船橋・我孫子バイパス線整備事業
- 初富交差点改良事業（右折レーンの設置）
- 大仏交差点改良事業
- 大柏川第二調整池整備事業
- 新京成線連続立体交差事業側道の整備

柱4 子どもたちが健やかに育つ まちづくり

未来を担う子どもたちが健やかに育つように、下記事業に対する千葉県負担の拡充を目指し、市町村負担の軽減を図ります。

- 子ども医療費助成
- 通院負担を小学3年生から中学3年生に拡充
- 学校給食費助成の拡充

柱5 高齢者や障がいを持つ人も 暮らしやすいまちづくり

活力ある社会のためには、高齢者や障がいを持つ人が、活躍できる施策が必要であるとともに、住み慣れた地域で暮らし続けるための、地域包括ケアシステムの構築が必要です。このため以下の取り組みを推進します。

- 医療、福祉、介護人材の確保
- 高齢者や障がいを持つ人の自立支援に向けて取り組む市町村への支援
- 見守り、支え合う地域づくりへの支援



自由民主党公認
石井かずみ

いつも前へ、いつも本気で
本気で動けば必ず成果はでる

県議会に
女性の議席を！



無党派



岩波はつみ

県議2期目で達成させること

- 北千葉道路鎌ヶ谷区間は地下へ地表は歩行者空間へ
県道船取線、バイパス線共に直進可へと計画変更を
- 鎌ヶ谷市に企業進出を誘導する都市計画を
- 多様な「高齢者通いの場」を各地に

岩波はつみ プロフィール

1期4年間の集大成



- 1959年(昭和34年)山梨県生まれ
鎌ヶ谷市鎌ヶ谷1丁目在住
- 夫・夫の母・子ども3人・孫4人(岐阜県/大阪府在)
- 千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学大学院修士課程修了。
- 大学卒業後、生活協同組合職員8年、鎌ヶ谷市議会議員4期。アクアライン800円提言・実現。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。
- 現在 2019年4月より千葉県議会議員、知的障がい者グループホーム職員、NPO法人元気になろう福島理事、児相と親子の架け橋千葉の会世話人、鎌ヶ谷市北千葉道路地下化で街づくりの会顧問

千葉県議会議員選挙

投票日

4月9日(日)

投票時間

午前7時～午後8時

※一部地域を除く

新型コロナウイルス感染症対策として、投票所内での感染対策に取り組んだ上で選挙を実施します。

また、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的な利用をお願いします。

期日前投票・不在者投票は、4月8日(土)までの毎日、原則午前8時30分から午後8時までできます。

なお、新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は特別郵便等投票を利用できます。

投票用紙の請求期限 4月5日(水)午後5時まで
投票用紙の請求先 各市区町村選挙管理委員会
詳しくは各市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

市民の声を県政に

市議4期16年間の経験を活かして

- 1 まちづくり**
 - 鎌ヶ谷大仏交差点、初富交差点等、主要交差点改良の早期整備
 - 新鎌ヶ谷駅南側県有地の土地活用
 - 新鎌ヶ谷駅西側地区の都市化、北千葉道路早期整備及び沿線における土地利用価値の向上
 - 洪水を防ぐため、大柏川第二調整池の早期整備
 - 防犯環境の整備、防犯カメラの設置
- 2 健康・福祉**
 - 小児救急医療体制の充実
 - 予防医療や健康づくりの取組の推進
- 3 子育て・教育**
 - 不妊治療等への支援
 - 多子世帯やひとり親世帯への経済的負担の軽減
 - ICTを活用した不登校支援やメンタルヘルスケアの推進
- 4 地域活性**
 - 商店街の活性化、商工業の振興
 - 空き家利活用による地域再生
- 5 産学官民連携**
 - 県と市町村との連携強化
 - 企業やNPO等との協働によるコミュニティづくりの促進
- 6 行財政改革**
 - 税金の使い道をわかりやすく公開
 - 公共施設の複合化・多機能化の推進

プロフィール

昭和50年 鎌ヶ谷市で誕生 ・みちる幼稚園卒園
・中部小学校 ・第四中学校 ・白井高等学校
・中央学院大学法学部法学科卒業

平成19年 鎌ヶ谷市議会議員 初当選(4期連続当選)

令和元年 明治大学公共政策大学院
ガバナンス研究科修了(公共政策修士)

ホームページは **松沢たけひと** 検索 **無所属**
www.t-matsuzawa.net



まつざわ
松沢たけひと
47才